

女性として、
医師として、
母として、

生き生きと働くために



石川県女性医師支援センター ご案内

第14版 令和7年3月

石川県医師会／石川県

石川県女性医師 支援センター



石川県女性医師支援センターでは、女性医師の皆さんの就業継続のための支援を行っています。

センターの事業内容

相談事業

センターでは、様々なご相談をお受けしています。
例えば……

- 育児で空白があるので現場に復帰したいが不安
- 院内保育所のある病院を教えてください
- 臨床研修修了後、どの診療科に進もうか迷っている

など、どのようなご相談でもお答えします。

ご相談は、電話やメールのほか、女性医師支援コーディネーターや女性医師メンター（次ページ参照）がお受けすることも可能です。ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

石川県女性医師支援センター事務局

〒920-8660 金沢市鞍月東2丁目48番地(石川県医師会内)

電話：076-239-3800 FAX：076-239-3810

Eメール：ishikai-soumu@ishikawa.med.or.jp

女性医師支援センターの相談窓口

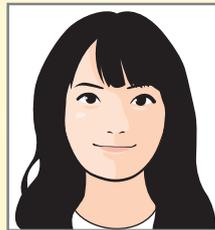
女性医師支援コーディネーター

経験豊富な5名の女性医師がコーディネーターとして皆さんからのご相談に応じるほか、病院訪問活動やセミナーの企画など、様々な女性医師支援活動を行っています。
周りに相談できる相手がいなくて悩んでいらっしゃる方はぜひお気軽にご相談ください。

● 女性医師支援コーディネーターのご紹介



轟 千栄子 先生
(石川県医師会)



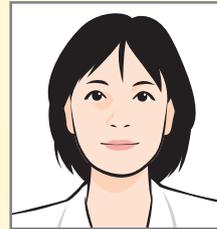
田中 妙子 先生
(石川県医師会)



赤澤 純代 先生
(金沢医科大学病院)



森下英理子 先生
(金沢大学附属病院)



高橋 麗子 先生
(石川県立中央病院)

● 病院訪問活動

● 郡市医師会女性医師との懇談会

郡市医師会の女性医師の方々との意見交換を行っております。

女性医師メンター

センターでは、県内15病院に、計22名の女性医師を女性医師メンター（助言者）として委嘱しています。院内の相談相手として、まずは先輩格のメンターの先生にご相談してみてください。

どの女性医師がメンターか分からない場合は、病院の女性医師支援担当部署または当センターまでお問い合わせください。

● 女性医師メンターの主な活動内容 (令和6年度)

病 院 名	メンター人数	座談会等の開催	情報提供	その他 (個別相談等)
金沢医科大学病院	4名		2回	1回
金沢大学附属病院	4名	1回	4回	7回
石川県立中央病院	2名	1回		2回
金沢医療センター	1名	2回		
浅ノ川総合病院	1名	1回		
城北病院	1名			1回
小松市民病院	1名			
金沢市立病院	1名	1回	1回	1回
恵寿総合病院	1名	1回	1回	
公立松任石川中央病院	1名	1回		
公立能登総合病院	1名		1回	1回
芳珠記念病院	1名			1回
金沢赤十字病院	1名	1回		
地域医療機構金沢病院	1名		1回	1回
加賀市医療センター	1名	1回		
合 計	22名	10回	10回	15回
令和5年度	21名	13回	16回	20回
令和4年度	22名	6回	16回	26回

● メンター活動報告会

令和6年11月30日(土)、12月8日(日)実施 (Web会議)

メンターから報告された主な相談内容

- 若手医師のキャリア志向の低下と多様性について
- 理解の無い管理職の対応について
- 男性医師の育休取得について
- 若手医師を残すための方法、学生と研修医の対策について
- 女性医師メンターの若返りについて
- 業務分担と負担軽減について
- 中堅医師の留学と学位取得について
- ダイバーシティ推進室の設置について
- ミニレクチャーと異業種の講演会について
- 女性職員懇談会の開催について
- 茶話会の実施について
- 院内でのアンケート調査の実施について

復職研修

出産・育児・介護等のため離職し、現場復帰に不安を抱える女性医師を対象に復職研修を行っています。研修先の病院や研修内容等は面談の上、ご本人のご希望を考慮して決定します。

再就業や復職にお悩みの方はぜひお気軽にご相談ください。

女性医師支援セミナー等の開催

センターでは、目指すべきロールモデルや院内の勤務環境改善の先進事例等を紹介する大学講義の実施やセミナーを開催しています。

金沢大学医薬保健学域医学類総括講義

令和6年9月13日(金) 開催 (金沢大学宝町キャンパス医学類G棟2階 第3講義室)

金沢大学の医学類6学年を対象に、以下のとおり講義を行いました。(受講者101名)

テーマ 男女共同参画・医師のキャリア形成

進行：石川県女性医師支援センター コーディネーター 森下英理子 先生

① 講演 1

「育休を取得して」

金沢大学附属病院 集中治療部 特任助教 小坪 創 先生

- ・ 育休取得をお勧めする。家庭も仕事もどちらにも良い影響を与える
- ・ 育休取得前、復帰後は職場とよく相談する
- ・ 育休中はしっかり家庭に参加する



② 講演 2

「キャリアと育児の両立～夫婦で自分らしく生きるために～」

金沢医療センター 血液内科 近川 由衣 先生

- ・ 個人の希望に合わせて職場・社会の配慮が得られる時代へ
- ・ 子どもがいることで諦めなければいけないことばかりではない
- ・ 「自分ひとり」ではなく、「家庭」でバランスをとっていく



③ 講演 3

「私が私をあきらめない～ワークとライフの平行キャリアアップのすすめ～」

(事前参加型アンケートを含む)

富山大学附属病院 医師のダイバーシティ推進室長
産科婦人科診療講師 米田 徳子 先生

- ・ 医師としてのプロ意識、常に学び続ける姿勢
- ・ パートナーを育てる、決して諦めない
- ・ 一人で頑張らない。パートナー、親、友人、家電の助けを借りる



④ 閉会挨拶

石川県女性医師支援センター コーディネーター 轟 千栄子 先生



金沢医科大学医学部臨床講義

令和6年10月11日(金) 開催 (金沢医科大学中央棟4階 北辰講堂)

金沢医科大学医学部5年生を対象に、以下のとおり講義を行いました。(受講者102名)

テーマ 「働き方改革がはじまりこれからの未来予想図の描き方」

進行：石川県女性医師支援センター コーディネーター 赤澤 純代 先生

①開会挨拶

金沢医科大学病院

病院長 川原 範夫 先生



②基調講演

「女性医師のワークライフバランス ～これまでとこれから～」

石川県医師会 副会長

石川県女性医師支援センター コーディネーター 轟 千栄子 先生

- ・柔軟な勤務体制の整備体制と職場の上司および同僚の理解が必要
- ・育児・介護休業法の改正、産後パパ育休制度の利用と働き方改革



③特別講演

「女性医師の縁が拓いた研究と臨床の道」

～Physician Scientist (研究医) を目指して

Harvard Medical School Brigham and Women's Hospital 留学生活など～

大阪医科薬科大学 医学部外科学講座 胸部外科学教室 神吉 佐智子 先生

- ・教育、研究、臨床、患者会活動を出来ているのは学生からの積み重ね
- ・学生時代から探求したいものをみつけ育てていくこと
- ・日々の臨床の中での疑問を一つ一つ解決していき、世の中に発表すること
- ・人とのつながりを大事にすること



金沢大学 第11回ワーク・ライフ・マネジメントセミナー

令和7年2月22日(土) 開催 (金沢大学附属病院 外来診療棟4階 CPDセンター)

参加者：19名 (医師15名、看護師1名、医学生3名)

テーマ ～医師の多様な生き方を考える～

進行：金沢大学附属病院 メンター 放射線科 奥田 実穂 先生
小児科 井美 暢子 先生

①開会挨拶

金沢大学附属病院

病院長 吉崎 智一 先生



②第1部 金沢大学医局からの講演

講演1

「変わりゆく私の中のワークライフバランス」

腎臓・リウマチ膠原病内科

竹治 明梨 先生



講演2

「仕事・大学院入学・専門医受験などと、家事育児」

内分泌・代謝内科

奥村 美輝 先生



講演3

「気持ちよく働き生活するために～小児科医として思うこと～」

小児科

井上 なつみ 先生



③第2部 懇談会

④閉会挨拶

石川県女性医師支援センター コーディネーター 金沢大学附属病院メンター 森下英理子 先生



演者からのメッセージ

ワークライフバランスは難しいが、互いに影響し合う必要不可欠なものである。

臨床研究のお勧め、パートナーとの協力、心の余裕を持つこと。

人それぞれのワークライフバランスの理想像は異なる。

先輩や友人の経験談やアドバイスを参考に、気持ちよく自分が納得できる働き方をみつけること。

コーディネーター (先輩女性医師) からのメッセージ

ワークとライフを自分でマネジメントしていく時代である。

是非、上を目指す医師になってほしい。努力に見合った分の違った景色を見てほしい。

女性医師メンターが活動を行う病院のご紹介

金沢大学附属病院

〒920-8641 金沢市宝町13-1
<https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/>



問合せ先 担当：総務課

TEL(076)265-2092 FAX(076)234-4320
hpjinji@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学附属病院は、「最高の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人の育成に努めます」を基本理念としており、女性医師はもちろん、スタッフ、患者さん全ての方が心を和らげる場となるよう堅実に歩み続けています。

院内には、仕事と育児の両立支援を推進するため、夜間・日曜保育室「きらきらぼし」を、子どもが病気の場合に利用できる病児保育施設「たんぼぼルーム」をそれぞれ設置しており、敷地内には「つくしんぼ保育園」があります。

- 育児休業や育児短時間勤務の制度があり、利用者が増えています。
- 子どもの保育や看護のための休暇制度も充実しています。
- 育児休業からの復帰早期は病棟担当者であっても外来診療担当から始めるなど各科で状況に応じ配慮しています。
- メンターは4名が在籍（1名はコーディネーターも兼任）し、他科の医師でも気軽に相談ができます。

- 医学生、研修医、医師を対象とした「ワーク・ライフ・マネジメントセミナー」を開催しています。
 - 病院全体で約130名の女性医師が働いており、皆さん生き生きと診療と研究に取り組んでいます。
- 病院長からのメッセージ：私は職員が明るく元気に働けるような金沢大学附属病院を目指しています。職員が明るくなれば病院の雰囲気もよくなり、患者さんにも今以上に優しく接することができると思います。



金沢医科大学病院

〒920-0293 河北郡内灘町大学1-1
<https://www.kanazawa-med.ac.jp/~hospital/>



■ 北辰同窓会・水月会みなづきかいのHPアドレス
<https://www.kanazawa-med.ac.jp/~minazuki/>

問合せ先 担当：病院管理課（人事担当）

TEL(076)286-3511 FAX(076)286-2372
syokuin@kanazawa-med.ac.jp



金沢医科大学病院

当院は、全国と比較しても女子医学生、医師の割合が多く、現在110名の女性医師が働いています。女性医師のために設立された金沢医科大学水月会は北辰同窓会女性部（女性学生を含む）に属しており、入学時の新入生オリエンテーションでは、働く女性医師のための環境設備への取り組み、キャリア支援、リーダー育成のための活動などを紹介し、女性医師と女子学生との交流も活発に行なっています。院内保育園「すこやか保育園」、院内病児保育「すまいる」も利用でき

ることから、子育てと仕事が両立できる体制が整い、さらに働きやすい環境となりました。また、現場復帰に不安を抱える女性医師には、本人に適した研修内容を各医局と相談し、提案する復帰支援研修のマネジメントも行なっています。病院幹部からのメッセージ：女性医師の支援には医師の労働環境をまず整備することが重要で、それぞれの現場にあった対応が必要であるため、病院全体で取り組んでいくよう努めております。



医局説明会



水月会総会



臨床研修センター研修医と女性医師

国立病院機構 金沢医療センター

〒920-8650 金沢市下石引町1-1
<https://kanazawa.hosp.go.jp/>



問合せ先 担当：管理課

TEL(076)262-4161 FAX(076)222-2758
302-kenshu@mail.hosp.go.jp



金沢医療センターには現在約30名ほどの女性医師が勤務しています。幅広い科に各世代の女性医師がおり、それぞれの状況に沿った多様な働き方でいきいきと活躍しています。今後のキャリアアップや仕事と家庭のバランスなどのとり方など、ライフステージに応じた相談も気軽に出来ます。

育児のための短期間勤務制度や育児、介護のための休暇制度もあります。

職員向けの院内保育所「くるみ保育所」や院内病児保育所「にじいろルーム」も完備されており、子育てをしながら働くことへのサポートも完備されています。男女問わず多くの職員が利用しており、安心して仕事が出来ます。

研修医の先生より：上級医の女医の先生方と食事に行く機会が何度かあり、今後の進路のことや、まだ先の話ではありますが、育休や産休などのことをよく相談しています。

女性だからその悩みなどを同性の先生方に相談できる環境はとてありがたく、本当に参考になります。優しい先輩方のいる環境で働けて良かったです。



石川県立中央病院

〒920-8530 金沢市鞍月東2-1
<https://kenchu.ipch.jp>



問合せ先 担当：総務課職員係

TEL(076)231-7855 FAX(076)238-5366



当院は、県民の基幹病院として、救急医療や各科の専門性の高い医療を担っており、医師200名のうち約50名を女性医師が占め、男女を問わず活躍できる環境を整えています。

女性は人生の中で多様な役割を持ち、ライフワークバランスを考えながら働くことが求められます。当院では、救急や急性期疾患の診療に取り組みたいと考えたときに、多

くの女性医師が活躍している場があり、上級医が丁寧に指導を行っています。短時間勤務など、働き方も希望に応じて柔軟に選ぶことができます。また、同じような悩みを経験した先輩医師や同僚と話し合える機会も設けており、安心して働ける環境づくりを心がけています。

意欲あふれる女性医師の皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。



金沢市立病院

〒921-8105 金沢市平和町3-7-3
<https://kanazawa-municipal-hosp.com/>



問合せ先 担当：事務局

TEL(076)245-2600 FAX(076)245-2690
byouin@city.kanazawa.lg.jp



当院は、急性期医療を主体としたコミュニティ医療を目指す地域連携型総合病院です。約45名の医師のうち女性医師は10名です。キャリアを積んだ専門医が多く、仕事と家庭のワークライフバランスを保ちながら、医師としてもキャリアアップできる病院です。

病院の基本方針の1つとして「女性医師が仕事を継続できる環境が整い、やりがいをもって生き生きと働ける病院」を目指しています。いち早く副院長として女性医師を登用し、また育児短時間勤務制度や院内保育室・病児保育

室を備え、多くの職員が利用しています。これからも、子育てしながらでも、生き生きと仕事ができる環境を整備していきます。

○臨床研修医からのメッセージ

初期研修医の期間中に産前産後休暇と育児休業を取得しました。親族支援を受けにくい状況ですが、復帰後も院内病児保育や育児短時間勤務制度を利用しながら勤務しています。とても働きやすい職場です。

浅ノ川総合病院

〒920-8621 金沢市小坂町中83
<https://www.asanogawa-gh.or.jp>



問合せ先 担当：総務課

TEL(076)252-2101 FAX(076)252-2102
kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp



当院は、金沢の城北地区にある499床の総合病院です。浅ノ川病院グループの基幹病院として、急性期医療を担当すると共に、がん医療（早期発見と低侵襲治療）、脳卒中への対応やリハビリテーション、回復期リハビリ病棟や人工呼吸器専門病棟、地域包括ケア病棟、石川県最大規模となる90床の透析センターなど特徴ある民間病院として地域

に役立つ医療を展開しています。

職員にとっても元気で生き生きとした働きやすい職場を目指しており、民間らしく横のつながりが良好なアットホームな環境となっています。女性医師も多く在籍し、院内保育所を備え、短時間勤務等も可能など、ライフスタイルに合わせた勤務が可能な働きやすい職場です。

城北病院

〒920-8616 金沢市京町20-3
<http://johoku-hosp.com/>



問合せ先 担当：医局 担当事務次長

TEL(076)251-6111 FAX(076)252-5881
ishikensyu@johoku.jp



私たちは、各個人の医師として働くキャリアを応援します！女性医師が働きやすい職場は男性医師にとっても優しく、働きやすい職場です。

城北病院では病院全体の職員が「働き続ける為に」を常に考え環境整備をしています。

医師に関連する制度としては平日当直明け保障・短時間常勤医師制度があります。

全職員に対しては子育てや家族の看護・介護休暇制度、院内保育、病児保育、育児時短制度などがあり、男性職員（医師も含め）も育児休業の取得や時短業務を利用しています。職員が安心して働き続けられる職場が此処にあります！

金沢赤十字病院

〒921-8162 金沢市三馬2-251
<https://kanazawa-rc-hosp.jp>



問合せ先 担当：総務課

TEL(076)242-9840 FAX(076)243-7552
soumu@kanazawa.jrc.or.jp



金沢赤十字病院は個人を尊重する病院です。

病床数は262床、医師数は34名、女医は5名です。女医の担当科は眼科、放射線科、消化器内科、内科、乳腺外科で、そのうちの2名が日赤在職中の子育て（未就学時期から大学受験まで）と両立してきました。女性研修医の先生との交流もあります。

子育て女医にとってありがたいことに

①時短勤務や日当直の減免など働きやすい環境を病院が整えてくれます。交渉次第では女医の日当直の勤務に融通

あります。院外ですが病児保育のサービスもあります。

②また女医部屋があり、日常の何気ない会話が日ごろの仕事と育児のストレスから解放してくれます。

③上級医の指導の下に学会発表も行うなどアカデミックな活動も行っています。

金沢赤十字病院はコンパクトならではの配慮が行き届いた働きやすい病院です。

私たちは一緒に働く仲間を募集しています！

地域医療機能推進機構 金沢病院（JCHO 金沢病院）

〒920-8610 金沢市沖町八-15
<https://kanazawa.jcho.go.jp/>



問合せ先 担当：総務企画課

TEL(076)252-2200 FAX(076)253-5074
main@kanazawa.jcho.go.jp



JCHO金沢病院は職員全体の働きやすさを重視しています。

女性医師はライフステージにより特に状況や立場が変化しやすく、働き方にも影響します。それを柔軟に受け入れ、しっかりと声を拾い上げてくれる病院長、副院長、そして温かく応援して下さるスタッフ達に感謝しつつ、職務

に励むことができます。

男性医師も含め、皆が働きやすい環境をいかに作っていくか、個々の意見を尊重しながら環境が整えられていっており、働きやすい病院です。楽しく働き続ける職場づくりを目指し、共に活躍できる仲間を募集しています！

公立能登総合病院

〒926-0816 七尾市藤橋町ア部6-4
<https://www.noto-hospital.nanao.ishikawa.jp>



問合せ先 担当：総務課

TEL(0767)52-8749 FAX(0767)52-9225
syomu@noto-hospital.jp



当院は、病床数434床で常勤医師数は62名と、規模はそれほど大きくないですが、チーム医療、地域医療、患者中心の医療を実施しております。

現在8名の女性常勤医師が勤務しており、医局には女性専用の部屋があり、産前産後休暇、育児休業及び短時間勤務などの制度が整備され、病児保育も実施しているなど、

女性医師が働きやすい環境が整っております。また、日当直及び時間外勤務など、勤務条件についても、ご相談いただければできる範囲で考慮させていただきます。

ぜひ、当院で一緒に働きませんか。

恵寿総合病院

〒926-8605 七尾市富岡町94番地
<https://www.keiju.co.jp>



問合せ先 担当：管理課

TEL(0767)52-3211 FAX(0767)52-3218



当院は七尾湾に面しており、七尾市が属する中能登地域のみなず奥能登地域から来られる患者さんの診療にもあたっている総合病院です。最先端の医療DXの導入により働き方改革も推進され、今年日本一働きやすい病院アワード2024大賞（1位）を受賞しました。最先端の医療DX導入の例で言えば、院外からでも病院支給のiPhoneから電子カルテや画像の閲覧ができ、設定を事前にしておけば個人のパソコンからも電子カルテからオーダーを行うことが可能です。また生成AI導入でサマリの作成がかなり簡便になり、医師の仕事負担軽減が達成されております。もち

ろん産前産後休暇、育児休業制度があり、女性医師は数が少ないですが産休・育休合わせて半年ほどとられており、当院の女性職員全体の取得率も100%で、期間は昨年平均して9カ月半ほどとなっています。

日本一働きやすい当院で一緒に働いてみませんか。



小松市民病院

〒923-8560 小松市向本折町ホ60
<https://hosp.komatsu.ishikawa.jp>



問合せ先 担当：総務課

TEL(0761)22-7111 FAX(0761)21-7155
cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp



当院では、女性医師の増加に伴い、女性医師用の更衣室・救急宿直室等の環境整備を行いました。また、育児休暇制度も充実しており、職場復帰後も育児短時間勤務制度を利用し、フレキシブルな勤務形態を選択し働けます。

病児・夜間保育所も設置しており、仕事と子育てのワークライフバランスをとりながら働ける環境づくりを整えています。

公立松任石川中央病院

〒924-8588 白山市倉光3-8
<https://www.mattohp.jp>



問合せ先 担当：事務局職員課

TEL(076)274-5972 FAX(076)274-5974
jinji-kigyodan@mattohp.jp



公立松任石川中央病院では、妊娠・出産・育児、体調や家庭の状況に応じて、短時間勤務や宿直免除など個別にサポートしています。

また、育児と仕事の両立などの悩みについては、出産・育児経験のあるメンターが個別に相談対応いたします。

なお、病児保育の施設も隣接しております。

『少しでも医師としてのキャリアを活かしたい』と望まれる女性医師のワークライフバランスに対応した病院づくりを目指しています。

芳珠記念病院

〒923-1226 能美市緑が丘11-71
<https://www.houju.or.jp>



問合せ先 担当：医局秘書

TEL(0761)51-5551 FAX(0761)51-5552
n-nishita@houju.jp



〈メンターからのメッセージ〉

芳珠記念病院は『仲よく楽しく 人と社会を健康に』をモットーとしている、地域に根差した総合病院です。病院の規模は大きくはありませんが、各種の専門外来も開設し、介護施設や訪問看護、保育施設などの事業も行っております。

当院には女性医師・男性医師共に様々な年代の医師が勤務しており、常勤・非常勤の選択や、勤務日数・勤務時間の調整など、それぞれが働きやすい条件で勤務しています。育児中の女性医師には当直の免除などの配慮もされていますが、それ以外の医師に過度の負担がかからないよう、非常勤医師の採用にも積極的です。隣接した敷地に企業主導型保育施設があり、0～2歳児の保育や小学生までの病児保育も行っております（当院の職員にはどちらも利用料の補助があります）。希望があれば、通常の保育は24時間、365日対応可能となっており、途中入園も随時募集中です。また、常勤の小児科医もおり、お子様の受診もス

ムーズです。

医局には若手女性医師のブースがあり、みんなリラックスして休憩時間を過ごしています。小さな医局ですので他科の医師にも声をかけやすく、各科の専門医に工作上的相談だけでなく、ちょっとした育児の相談をする姿も見かけます。トイレや洗面所にはささやかですが院内で過ごしやすくなるようなアメニティを用意し、医局にはノンカフェインのお茶などもそろえています。



医局化粧室アメニティー

小高い丘の上にある病院で、遠くには観覧車も見え、周囲の風景に四季の移り変わりを感じます。各自のライフステージに合わせて働ける病院です。ぜひ一緒に、仲よく楽しく働きませんか？

加賀市医療センター

〒922-8522 加賀市作見町36番地
<https://.kagacityhp.jp/>



問合せ先 担当：総務課

TEL(0761)72-1188 FAX(0761)76-5263
soumu@city.kaga.lg.jp



〈メンターからのメッセージ〉

加賀市医療センターは「おもいやり」を基本理念とした地域の中核病院です。

現在、4名の女性常勤医師が勤務しています。年に1回程度、「女性医師交流会」で勤務を離れ、先輩医師や同僚と気軽に交流できる場を設けています。また、女性研修医在籍時には、女性医師メンターとの定期的な面談を行っています。当院では妊娠・子育て中の女性医師のために、短時間勤務や育児休業制度の利用、日当直および時間外勤務の免除など女性が働きやすい環境を整えています。また、院内に病児病後児保育室「かもっ子」が設置されており、子どもの体調不良時には利用することができます。

現在「医師の働き方改革」に基づき、男性医師も含め皆が働きやすい病院をめざしており、昨年度は1人の男性医師が育児取得をしました。「子育てをしながらも医師としてのキャリアを活かしたい、キャリアアップをしたい」と考える女性医師が仕事と子育てのワークライフバランスをとりながら働き続ける環境作りを力を入れています。

〈育児取得した男性医師からのメッセージ〉



4人目の出産を機に、初めて育児を取りました。男性医師としての育児取得は初めてでしたが、職場の皆さんに支えられ、妻の出産予定日の1か月前から時短勤務、

出産後は2か月間の育休を取ることが出来ました。

我が家は3人の小さな男の子がいて、日々の子どもの相手や、幼稚園や小学校の入学準備、送り迎え、掃除、洗濯、衣替え、赤ちゃんのミルクやおむつ交換などを行いました。実際に体験して思いましたが、身重の妻、産後の体力が落ちた妻一人ではこれら全ての事を行うことはかなり大変だったと思います。

産前後の大変な時に休みを頂いた間も働いてくれた仲間、対応してくれた病院にはとても感謝しています。育休のおかげで、仕事と家庭が破綻することなく今も過ごすことが出来ています。このように男性医師でも出産・育児に専念できる環境づくりに協力出来る病院だと思います。

〈研修医からのメッセージ〉

加賀市医療センターでは、4名の女性上級医の先生方と勤務をしています。

年に数回行われる食事会や休憩時間でのたわいもない会話を通じて交流を深めることができ、相談しやすい環境を提供していただいています。

女性として結婚・出産などのライフイベントとキャリアの両立が難しく、様々な選択を迫られる中で、身近な先輩医師たちの存在は貴重です。

研修医である私は自身のキャリア形成について考え、悩む時期にありますが、親しみやすく頼りになる先輩医師のアドバイスやサポートのおかげで、将来について前向きに考えることができ心身ともに元気に勤務することができています。

各種調査等の実施

センターでは、女性医師支援に必要な調査を随時行っています。

女性医師勤務状況調査 (令和6年度実施) ※調査対象 女性医師メンター配置15病院

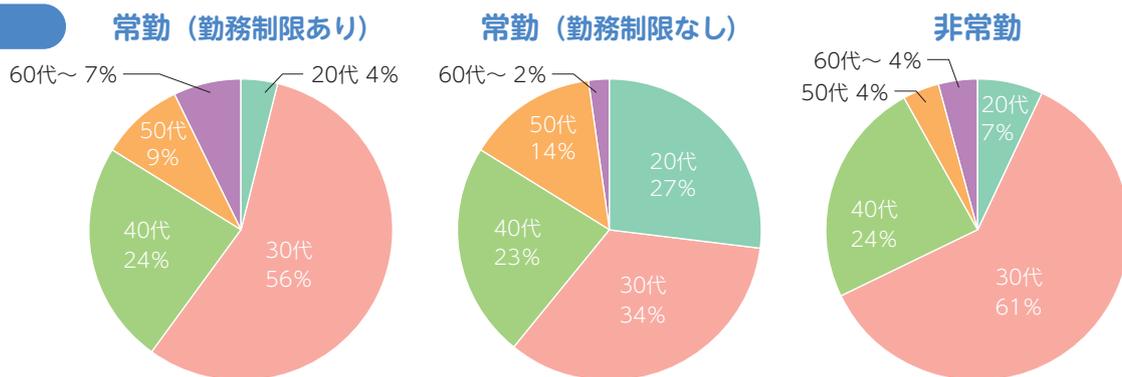
女性医師数

常 勤	365名 (+ 2) 【+13】
(勤務制限なし)	320名 (+ 5) 【- 5】
(勤務制限あり)	45名 (- 3) 【+ 18】
非 常 勤	46名 (+ 2) 【+ 9】
計	411名 (+ 4) 【+22】

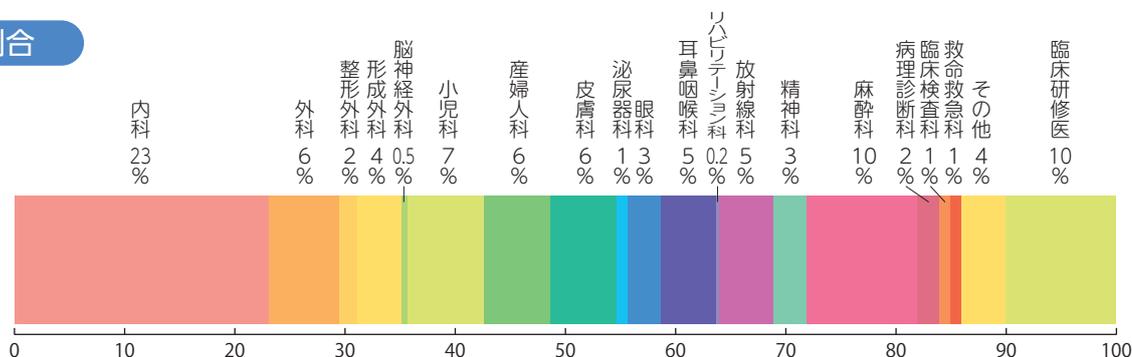
()は昨年度との差 【 】は令和元年度との差

- 令和6年4月1日現在の状況
- 「勤務制限あり」とは育休中、産休中、または育児や介護等による短時間勤務制度の利用や、当直、オンコール免除の対象となっている女性医師
- 非常勤については週3日もしくは週4日勤務の医師のみ

年齢内訳



診療科割合



子育て便利情報と 介護サービス利用相談窓口

1 病児・病後児保育

子どもが病気になったり、回復が長引いたときなど、保護者が仕事やその他で看病ができず、また、病気がしっかり回復するまで保育所へ復帰もできずに困ることがあります。

このようなときに一時的に子どもを預かってくれるのが病児・病後児保育で、県内では次の施設で行われています。

● **利用方法** 各施設で直接受け付けています。

〈**利用料金**〉1日当たり 1,000～3,000円 (市町や施設によって異なり、1日又は時間単位になっています。)

● **実施施設**

【病児・病後児保育】

病 院 名	住 所	電話番号
石川県立中央病院 病児保育室 ひよこ	金沢市鞍月東2-1	☎(076)238-7868
金沢市立病院 病児保育室 さくら	金沢市平和町3-7-3	☎(076)245-7330
金沢大学 病児保育室 たんぽぽルーム	金沢市宝町13-1	☎(076)265-2990
健生クリニック 病児保育室 ほっとルーム	金沢市平和町3-5-2	☎(076)241-9062
城北病院 病児保育室 はっぴ〜	金沢市京町20-3	☎(076)253-0561
聖霊乳児院 病児保育室せいれい	金沢市長町1-5-46	☎(076)223-2980
松田小児科医院 ひまわりるーむ	金沢市片町2-13-13	☎(076)231-1260
横井小児科内科医院 病児保育室 こりすの里	金沢市菊川1-10-3	☎(076)262-8551
恵寿総合病院 病児保育室 あんず	七尾市富岡町94	☎(0767)52-3211
小松市民病院 こまつ病児保育ルーム	小松市向本折町ホ60	☎(0761)23-2626
粟津診療所 なんぶ病児保育ルーム	小松市島町力20	☎(0761)44-5581
市立輪島病院 病児保育室・病後児保育室	輪島市山岸町は1-1	☎(0768)22-2222
珠洲市総合病院 病児・病後児保育所	珠洲市野々江町工部1-1	☎(0768)82-5479
加賀市医療センター 病児・病後児保育室 かもっ子	加賀市作見町リ36	☎(0761)76-5179
さくら保育園 病児・病後児保育室	かほく市宇気イ1-1	☎(076)283-7791
白山市病児保育センター	白山市倉光3-75-2	☎(076)276-0050
くらやま保育園 あじさいルーム	白山市明島町中161-1	☎(076)272-1382
みかわこども園病児保育室 マハナ	白山市美川和波町北68	☎(076)278-3119
能美市病児保育センター	能美市大浜町ノ35-1	☎(0761)58-2277
キッズベースみどりがおか	能美市緑が丘11-49-1	☎(0761)51-7775
ポニーポッシュ	野々市市横宮町16-9	☎(076)248-7780
病児・病後児センターあわだ	野々市市粟田1-126	☎(076)225-6026
金沢医科大学病院 病児保育室 すまいる	河北郡内灘町字大学1-1	☎(076)218-8059
公立穴水総合病院 病児・病後児保育室さくらんぼ	鳳珠郡穴水町字川島タ-8	☎(0768)52-0511

【病後児保育】

野々市市子育て支援センター菅原	野々市市菅原町8-33	☎(076)248-4634
-----------------	-------------	----------------

2 一時預かり

家庭で保育している方でも、本人が病気の時や冠婚葬祭の時、あるいはPTA活動や習い事のあるとき、リフレッシュしたいときなどがあります。このようなときに必要な時間だけ一時的に子どもを預かってくれるのが一時預かりです。

● 利用方法

各認定こども園・保育所・幼稚園等で受け付けていますが、一日の利用児童数に制限がありますので、必ず事前に予約をするようにしてください。

〈利用料金〉●3歳未満児 1,000～3,000円/日 ●3歳以上児 1,000～2,200円/日
(市町や施設によって異なり、1日又は時間単位になっています。)

3 ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターは、保育所等の送迎や預かりなどの育児援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児に対して地域ぐるみで助け合う会員システムです。運営は市町で行っています。保護者が急な残業や親戚の法事等により、ちょっと子どもを預かってほしい時等に、仕事と家庭の両立、および子育て家庭の支援のために必要な援助を行っています。

● 利用方法

利用するには会員登録が必要ですので、各市町のファミリー・サポート・センターにお問い合わせください。

● 実施施設

※利用料など詳細は各センターへお問い合わせください。

金沢市ファミリー・サポート・センター	金沢市教育プラザ富樫内	☎(076)243-3410
七尾市ファミリー・サポート・センター	親子ふれあいランド内	☎(0767)52-1476
こまつファミリー・サポート・センター	カブッキーランド内	☎(0761)58-1212
輪島市ファミリー・サポート・センター	輪島市子育て支援センター	☎(0768)22-8031
珠洲市ファミリー・サポート・センター	すずキッズランド	☎(0768)82-5479
かがファミリー・サポート・センター	親子ほっとステーション内	☎(0761)75-7933
羽咋市ファミリー・サポート・センター	羽咋市こども課	☎(0767)22-0066
かほく市ファミリー・サポート・センター	かほく市こども家庭センター内	☎(076)283-0205
白山市ファミリー・サポート・センター	白山市子育て支援センターげんきっこ	☎(076)274-8137
能美市ファミリー・サポート・センター	能美市子育て支援センター内	☎(0761)58-6230
野々市市ファミリー・サポート・センター	野々市市子育て支援センター菅原	☎(076)248-4634
川北町ファミリー・サポート・センター	川北町児童館	☎(076)277-1314
津幡町ファミリー・サポート・センター	津幡町社会福祉協議会	☎(076)288-6276
内灘町ファミリー・サポート・センター	内灘町子育て支援センター	☎(076)238-3233
志賀町ファミリー・サポート・センター	志賀町子育て支援課	☎(0767)32-9122
宝達志水町ファミリー・サポート・センター	宝達志水町健康福祉課子育て応援室	☎(0767)28-5526
中能登町ファミリー・サポート・センター	中能登町健康保険課こども家庭センター内	☎(0767)72-3134
穴水町ファミリー・サポート・センター	穴水町こども家庭センター内	☎(0768)52-3210
能登町ファミリー・サポート・センター	能登町健康福祉課	☎(0768)62-8513

4 介護サービス利用相談窓口

介護サービスを利用するには、要介護（要支援）認定が必要です。

市町の窓口や地域包括支援センターにて相談対応を行っていますので、介護や支援が必要と感じたらお近くの窓口にご相談ください。

● 市町の介護担当窓口

市 町	担 当 課	電話番号	市 町	担 当 課	電話番号
金 沢 市	介 護 保 険 課	(076)220-2264	野 々 市 市	介 護 長 寿 課	(076)227-6066
七 尾 市	高 齢 者 支 援 課	(0767)53-8451	川 北 町	福 祉 課	(076)277-8388
小 松 市	長 寿 介 護 課	(0761)24-8147	津 幡 町	福 祉 課	(076)288-2416
輪 島 市	福 祉 課	(0768)23-1159	内 灘 町	福 祉 課	(076)286-6703
珠 洲 市	福 祉 課	(0768)82-7749	志 賀 町	健 康 福 祉 課	(0767)32-9132
加 賀 市	介 護 福 祉 課	(0761)72-7853	宝 達 志 水 町	健 康 福 祉 課	(0767)28-5505
羽 咋 市	地 域 包 括 ケ ア 推 進 室	(0767)22-5314	中 能 登 町	長 寿 福 祉 課	(0767)72-3133
か ほ く 市	長 寿 介 護 課	(076)283-7122	穴 水 町	住 民 福 祉 課	(0768)52-3621
白 山 市	長 寿 介 護 課	(076)274-9529	能 登 町	健 康 福 祉 課	(0768)62-8517
能 美 市	保 険 年 金 課	(0761)58-2236			